

■乾太助記念動物科学研究助成基金の助成実績

研究の題名	申請者氏名	所属機関名
【平成5年度】 <ul style="list-style-type: none"> マウス胚性幹(ES)細胞ならびに胎子期生殖細胞の低温保存および核移植に及ぼす細胞周期の影響 バビルサの生態と餌における研究 コウノリのミトコンドリアDNAによる遺伝的モニタリング 鳥類の鉛中毒症に関する実験病理学的研究—免疫系および内分泌系の障害について— 	加藤容子 AGUNG PURNOMOADI 王立石 落合健爾	近畿大学農学研究科学術振興会特別研究員近畿大学農学研究科学術振興 東京農業大学大学院農学研究科研究生 東京大学農学系研究科獣医学専攻大学院生 北海道大学獣医学部助手
【平成6年度】 <ul style="list-style-type: none"> タマラオ(<i>Bubalus mindorensis</i>)の保護に関する集団遺伝学的研究 PCR法を用いた希少野生動物の性別判定および個体鑑別血縁分析法の開発 夜行性動物の視覚機能に関する研究 重油汚染鳥類の病態生理学的研究 	Chester Dizon Solis 高見一利 竹内崇 大和修	名古屋大学大学院農学研究科畜産学専攻博士課程 岐阜大学大学院連合農学研究科博士課程 鳥取大学農学部助手 北海道大学獣医学部家畜内科学講座助手
【平成7年度】 <ul style="list-style-type: none"> ツキノワグマの保護、ことに越冬穴選択の解析 低栄養による繁殖障害の発生機序に関する研究 尿中ホルモンの解析によるゾウの生殖機能の研究 希少猛禽類における環境汚染物質の残留実態 	橋本雪彦 Maria Amelita Estacio 新井浩司 山地明子	東京大学農学部野生動物システム学研究室大学院生 名古屋大学大学院農学研究科博士課程前期 東京農工大学農学部家畜生理学大学院博士課程 岐阜大学農学部獣医学科研究生
【平成8年度】 <ul style="list-style-type: none"> 雄性生殖細胞の培養分化システムを利用した新しい人工繁殖法の開発 	大迫誠一郎	鹿児島大学農学部助手
【平成9年度】 <ul style="list-style-type: none"> 糞や体毛より抽出したDNAを用いた、類人猿の性別判定および個体識別法の開発 	村山美穂	岐阜大学農学部助手
【平成10年度】 <ul style="list-style-type: none"> エゾナキウサギの保護対策：保全生物学の視点から地域社会と環境保全の共生を探る 北海道沿岸に来遊する鰭脚類の個体群動態に関する基礎的研究 “発情期”と非発情期におけるフトコブラクダの頸腺(Poll gland)の比較研究 Feeding ecology and management of whooper swans 	小島望 石名坂豪 額爾敦朝魯 John O Albertsen	岩手連合大学大学院連合農学研究科博士課程 北海道大学大学院獣医学研究科博士課程 酪農学園大学大学院獣医学研究科獣医学専攻博士課程 北海道大学大学院理学研究科博士後期課程
【平成11年度】 <ul style="list-style-type: none"> 北海道網走郡美幌町におけるキタクビワコウモリの生態に関する研究 レッサーパンダの繁殖メカニズム：性ホルモン分泌の季節変動解析による検討 ジュゴン(<i>Dugong dugon</i>)の消化機構ならびに摂餌生態 移入鳥ソウシチョウの在来鳥類群集への影響と地域個体群の遺伝的構造の比較 鳥類性染色体の遺伝子機能の解析とPCR性別判定法の繁殖現場への応用 	斉藤理 望月緑 明田佳奈 天野一葉 伊藤裕一郎	東京農業大学大学院生物産業学研究科学生 静岡市立日本平動物園非常勤職員 三重大学生物資源学研究科水圏生態学研究室院生 九州大学大学院比較社会文化研究科大学院生 東北大学農学研究科応用生命科学専攻博士後期

研究の題名	申請者氏名	所属機関名
【平成12年度】		
・ カヤネズミの生息地保全に関する研究(副題:市民と共に作る全国「カヤネズミ・マップ」)	島佐代子	大阪市立大学大学院理学研究科
・ ブタ卵母細胞のガラス化凍結保存に関する研究	Sugulle Abukar Hassan	東北大学大学院農学研究科修士
・ SINEを指標とした鯨類の系統的、集団遺伝学的解析	二階堂雅人	東京工業大学生命理工学部バイオサイエンス専攻博士課程
・ 日本イヌワシの繁殖生態に関する研究	布野隆之	新潟大学大学院自然科学研究科大学院生
・ 日本鶏に蔓延するトリの神経膠腫の本態究明	岩田奈織子	北海道大学大学院獣医学研究科博士課程
【平成13年度】		
・ 島嶼生態系におけるネコ科の時空間的環境利用様式	渡辺伸一	琉球大学大学院理工学研究科博士課程
・ 北海道沿岸に来遊する鰭脚類における有機塩素系化合物の蓄積機構とその毒性影響に関する研究	星野広志	北海道大学大学院水産科学研究科博士課程
・ 人工草地を利用した草地生息性小型・中型哺乳類の保護に関する研究	石若礼子	九州大学日本学術振興会特別研究員
・ 御崎馬群の保全的管理に関する研究	井上陽一	山口大学大学院連合獣医学研究科
・ 農耕地に依存する猛禽類サンバの越冬生息地保全	呉盈瑩	東京大学大学院農学生命科学研究科大学院生
【平成14年度】		
・ 野生ハンドウイルカにおける接触を伴う行動に関する研究	酒井麻衣	東京工業大学大学院生命理工学研究科博士後期課程
・ バットボックスを用いたヒナコウモリ、キタクビワコウモリの生態研究および保護対策の構築	福井大	北海道大学大学院農学研究科
・ ネコ卵母細胞の体外受精に関する研究	Ni.Wayan Kurniani Karja	山口大学大学院連合獣医学研究科
・ ツキノワグマによる林木の剥皮害を発生させる食物環境の解明	玉谷宏夫	京都大学大学院農学研究科森林利用学研究室
・ 飼育下ペンギンの鳥マラリアに関する研究—PCR法を用いた鳥マラリア原虫DNAの増幅—	穴井直博	高知県立のいち動物公園
【平成15年度】		
・ ニホンヤマネの生態学・行動学的研究からグローバルな保護対策の構築へ	岩渕真奈美	キープやまねミュージアム職員
・ 鯨類用人工調合乳の調整に関する基礎研究	上村祐介	帯広畜産大学酪農化学研究室
・ オオタカ精液の冷蔵保存および冷凍保存に関する研究	波多野幾也	NPO法人日本放鷹協会
・ 絶滅危惧Ⅱ類コアジサシの人工営巣場所創出管理のための研究	戸津久美子	東京大学大学院農学生命科学研究科生物多様性科学研究室
・ 精子レセプター分子への結合を指標とした鳥類精子のクオリティーアセスメント	笹浪知宏	静岡大学農学部応用生物化学科
【平成16年度】		
・ タンザニア西部におけるチンパンジーの保護管理に関する基礎的研究	中村美知夫	財団法人 日本モンキーセンター・リサーチフェロー
・ ミナミハンドウイルカの生活圏と採餌に関する研究	森阪匡通	京都大学大学院理学研究科動物生態学研究室
・ ミンククジラの体外受精に関する研究	岩山広	帯広畜産大学畜産学研究科修士課程
・ アホウドリをはじめとする希少海鳥類の分子的性判定	長井和哉	弘前大学大学院農学生命科学研究科大学院生
・ 三陸海岸における海鳥類の保全と生態に関する研究	松本経	北海道大学大学院水産科学研究科博士後課程

研究の題名	申請者氏名	所属機関名
【平成17年度】 <ul style="list-style-type: none"> ・オオアクリイの唾液を利用した性周期モニタリングに関する研究 ・ニホンツキノワグマにおける栄養状態と繁殖に関する生理学的検討 ・アブラコウモリの分布拡大の歴史とその要因～人間活動の広がり分布拡大に影響を与えたのか？ ・隔離された島嶼生態系で血液原虫が鳥類の繁殖に及ぼす影響 ・野生生物の地域資源・象徴資源化についての研究～兵庫県豊岡市コウノトリの野生復帰を事例に 	上田愛子 中村幸子 Lazaro Miguel Echnique Diaz 松井晋 本田裕子	横浜市立よこはま動物園動物職 岐阜大学大学院連合獣医学研究科博士課程 東北大学大学院生命科学研究科博士課程 大阪市立大学大学院理学研究科大学院生 東京大学農学生命科学研究科博士課程
【平成18年度】 <ul style="list-style-type: none"> ・動物園で使える希少有蹄類の繁殖生理・生態モニタリング技術の開発 ・持続的狩猟を通じた大型動物個体群管理に関する基礎研究－西表島イノシシ個体群に着目して－ ・シカが森林生態系に果たす役割の評価－大規模野外操作実験による検証－ ・琉球列島におけるフクロウ類3種の分布とその決定要因 ・ライチョウの保全に関する基礎研究 	中川大輔 蛭原一平 日野貴文 伊藤はるか 澤祐介	姫路セントラルパーク動物部 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究科博士後期課程 北海道大学環境科学院博士課程 琉球大学大学院理工学研究科博士前期課程 京都大学大学院理学研究科修士課程
【平成19年度】 <ul style="list-style-type: none"> ・ラジオテレメトリーを用いたコウベモグラの基礎生態学的研究 ・エゾシカにおける受胎時期遅延の至近要因解明に関する繁殖生理学的研究 ・生息環境の異なるエゾモモンガの生態的研究 ・日本固有種ニホンテンの保全遺伝学的研究 ・絶滅危惧種オオセッカの繁殖生産力の推定と野焼きの影響について 	樫村敦 柳川洋二郎 浅利裕伸 佐藤淳 高橋雅雄	宮崎大学大学院農学工学総合研究科博士後期課程 北海道大学大学院獣医学研究科生態学教室博士課程 岩手大学大学院連合農学研究科博士課程 福山大学生命工学部生物工学科助教 立教大学理学研究科生命理学専攻博士後期課程
【平成20年度】 <ul style="list-style-type: none"> ・イロワケイルカの生体リズムに基づく、繁殖環境向上に関する研究 ・分布予測モデルを用いたカモシカおよびシカにおける種間関係の解明 ・トガリネズミが生態系で担う役割 ・小鳥の思春期発動と歌学習の臨界期の関係解明に関する神経内分泌学的研究 ・農耕地帯の森林生態系におけるアカゲラ個体群の保全管理に関する研究 	吉田弥生 八代田千鶴 南波興之 戸張靖子 森さやか	京都大学理学研究科博士後期課程 岐阜大学大学院連合獣医学研究科特別協力研究員 北海道大学低温科学研究所博士課程 日本医科大学大学院医学研究科ポストドクター 東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程
【平成21年度】 <ul style="list-style-type: none"> ・カワネズミの半水生適応に関する研究 ・飼育鯨類の活動周期と休息行動について ・豪雪地帯のニホンヤマネの好適な生息環境の解明 ・千曲川中流域で繁殖するカワセミ <i>Alcedo atthis</i> の育雛に釣り人の存在が与える影響の評価 ・慣行田における江の創出が、水生生物(魚類)量の変化を介して水鳥類(サギ類)の採餌活動に与える効果 	藤本竜輔 岩崎真理 中村夢奈 笠原里恵 村上比奈子	東京農業大学大学院農学研究科畜産学専攻博士後期課程 東京工業大学大学院学生 山形大学理学部大学院生 東京大学大学院農学生命科学研究科付属緑地植物実験所農学特定研究員 新潟大学大学院自然科学研究科博士前期課程

研究の題名	申請者氏名	所属機関名
【平成22年度】		
・ニホンツキノワグマにおける冬眠前の脂肪蓄積に関する生理学的研究	加味根あかり	北海道大学大学院獣医学研究科博士課程
・コウモリ類保全を目的としたモニタリングのための「音声による種判別法」の構築	福井大	森林総合研究所北海道支所非常勤研究員
・ゾウの卵胞発育・排卵・副黄体形成機構に関する研究	山本ゆき	岐阜大学大学院連合獣医学研究科博士課程
・特別天然記念物「土佐のオナガドリ」をその絶滅の危機から救う！	後藤達彦	広島大学大学院生物圏科学研究科博士課程後期
・コアジサシの最適な人工営巣環境の造成・管理技術の確立に関する研究	染谷さやか	東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程
【平成23年度】		
・トガリネズミ形目における新規モデル動物の開発	黒田高光	東京農業大学大学院生物産業学研究科修士課程
・絶滅危惧種アマゾンマナティーの放流事業における行動把握についての研究	菊池夢美	東京大学大学院農学生命科学研究科農学特定研究員
・野外におけるアカネズミの体温変動と日内休眠に関する研究	大久保慶信	宮崎大学大学院農学工学総合研究科博士後期課程
・東アジアおよび北米における渡り鳥マガンの遺伝的構造の解明	森口紗千子	独立行政法人国立環境研究所特別研究員
・イリオモテヤマネコの主要な餌資源としてのシロハラクイナの環境利用様式	岩崎哲也	琉球大学大学院理工学研究科博士前期課程
【平成24年度】		
・分断化された生息地における森林性齧歯類の生息地保全	鈴木圭	岩手大学大学院連合農学研究科生物環境科学専攻博士課程
・奄美大島における残存マングースの生息地特性と移動分散要因の解析	小峰浩隆	東京農工大学野生動物保護学研究室学生
・個体数増加に関わる雌アライグマの繁殖生理機構の解明	奥山みなみ	北海道大学大学院獣医学研究科野生動物学教室博士課程
・哺乳類受精卵の発育におけるレプチンの生理作用の解明と培養技術への応用	椛嶋克哉	弘前大学農学生命科学部研究員
・鳥類の多精受精の生理的意義の解明による顕微授精技術の改良	水島秀成	静岡大学農学部応用生物化学科日本学術振興会特別研究員
【平成25年度】		
・北海道沿岸域に生息する絶滅危惧種ゼニガタアザラシの音響・行動生態に関する研究	岩田高志	東京海洋大学海洋観測支援センター博士研究員
・ツシマテンの採餌戦略に着目した同所的に生息する食肉目3種の種間関係	大河原陽子	琉球大学大学院理工学研究科大学院生
・栃木県日光足尾地域におけるフンドNAを用いたニホンジカ個体群の遺伝構造の検討	杉田あき	東京農工大学農学府自然環境保全学専攻学生
・道東の森に暮らす鳥達の本来の姿を追う～国後島と道東地域の森林性鳥類相比较～	外山雅大	根室市歴史と自然の資料館主任学芸員
・ライチョウの保全および保護増殖にむけた生殖内分泌生理の解明と野生個体の繁殖生態の生理学的解明	山本彩織	岐阜大学大学院連合農学研究科博士後期課程大学院生
【平成26年度】		
・反芻動物の妊娠認識及び着床期間における生殖免疫の解明	前田洋佑	北海道大学医学部助教
・ゴンドウクジラ類における繁殖生理学的調査と精子の凍結保存に関する研究	船坂徳子	太地町立くじらの博物館
・北海道におけるゼニガタアザラシ(Phoca vitulina stejnegeri)の個体群幸三と系統地理の解明	水野米利子	東京農業大学大学院アクアバイオ学科水産資源管理研究室博士課程
・絶滅危惧種チュウヒの個体群増殖を意図した繁殖成績改善に関する研究	高橋佑亮	岩手大学大学院農学研究科修士課程
・希少鳥類の保全を目指した鳥類種横断的な腎障害マーカーの探索	石井千尋	北海道大学大学院獣医学研究科大学院生

研究の題名	申請者氏名	所属機関名
<p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オランウータンにおける妊娠時のホルモン動態と精子の液状保存に関する研究 ・ モニタリングに有効な生態的指標の評価ーニホンジカを例としてー ・ 登攀技術とDNA分析を用いた危急種ビントロングの保全に関する研究 ・ 絶滅危惧種アマミノクロウサギの生理・行動に観光産業が与える影響評価 ・ 東アジアに生息する希少猛禽類に関する遺伝的構造と多様性の解析 	<p>木下 こづえ</p> <p>竹下 和貴</p> <p>中林 雅</p> <p>鈴木 真理子</p> <p>長井 和哉</p>	<p>京都大学霊長類研究所</p> <p>東京農工大学連合農学研究科</p> <p>京都大学野生動物研究センター</p> <p>鹿児島大学国際島嶼教育研究センター奄美分室</p> <p>岩手大学農学部</p>
<p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体温変動を指標としたサドモグラの生理生態学的研究 ・ 餌付け行為がエゾリスに与える影響:警戒心の低下と生存率に着目して ・ 侵略的外来種マングース特異的避妊ワクチンを用いた新たな個体数抑制法の開発 ・ 羽毛の元素分析を用いた希少小型鳥類に対する移動履歴解明手法の開発 ・ 匂いから迫る、ダイトウコノハヅクの近親交配回避の仕組み 	<p>江藤 毅</p> <p>内田 健太</p> <p>國永 尚稔</p> <p>坂 有希子</p> <p>澤田 明</p>	<p>新潟大学研究推進機構 朱鷺・自然再生学研究センター</p> <p>北海道大学環境科学院動物生態学コース</p> <p>岐阜大学大学院連合獣医学研究科野生動物医学研究室</p> <p>岩手大学大学院連合農学研究科</p> <p>大阪市立大学大学院理学研究科</p>